

AGEphone for Android Manual

Version 1.8.008

2020/03/31 株式会社ageet



目次

AGEphone

- はじめに
- 主な機能
- 動作環境

基本画面

- 短縮ダイヤル画面
- 履歴画面
- 設定画面
- アカウント設定
- 発着信ルール
- ネットワーク設定
- SIP設定
- メディア設定
- 一般設定

設定

- 事前準備
- プロファイルの作成
- プロファイル切り替え
- スリープ時に着信を受ける
- 背景を変更する

通話機能

- アプリから発信する
- 携帯電話で発信する
- 通話を保留する
- スピーカーフォンに変更
- 短縮ダイヤルから発信する
- 履歴から発信する

短縮ダイヤル機能

- 短縮ダイヤルの登録
- 短縮ダイヤルの登録を削除

転送機能

- 転送機能を利用する
- 通話を転送する

着信時の動作

- 着信して一定時間経過後、留守番電話機能で応答する
- 留守番電話で応答するまでの秒数を変更する
- 発信元の番号によって着信音を変更する

終了方法

- アプリを終了する
- アプリを強制停止する

その他

- 広告を非表示にする

お問い合わせ

- アプリに関するお問い合わせ

AGEphone



はじめに

AGEphone for Android（以下、AGEphone）は、Android上でIP電話を利用可能にするソフトフォン（IP電話ソフトウェア）です。AGEphoneを使うことで、お持ちのIP電話番号を使って発着信を行えるのはもちろん、アメリカやヨーロッパなど、世界各国のIP電話を使うことができます。

無線LANを利用して自宅にいるときはNTTのひかり電話子機として、会社ではIP-PBXの内線子機として利用することも可能です。さらに、プラステルカードサービスを組み合わせると、外出先でも格安の電話料金で国内、国際電話問わず利用可能になります。



主な機能

アドレス帳対応	DTMF送出 Inband / RFC2833
スピーカーフォン	マルチコーデック ※1
転送機能	留守番電話アナウンス
発着信履歴機能	音声ウィザード機能
STUN対応	ソフトウェアエコーキャンセル
短縮ダイヤル機能	プロファイル管理機能
保留機能	不在時の動作設定
発着信ルール	TURN, ICE
プロファイル自動切り替え	着信音設定

※1 G.711u / G.711a / G722 / GSM / Speex / ILBC / SILK

AGEphone



動作環境

OS	Android 5.0以上
通信環境	Wi-Fi, 3G接続、上り下り、それぞれ128kbps以上の通信帯域
機種	動作確認機種については弊社HPをご覧ください。 http://www.ageet.com/products/agephone-for-android/spec/
正式対応サービス	NTT光ネクスト ひかり電話 Brastel Card



ダウンロード

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.ageet.AGEphone>



1.基本画面

基本画面



キーパッド画面

電話番号を直接入力することで発信が可能となっております。またスピーカー切り替え、ピックアップ、連絡先から発信、保留、携帯電話からの発信など様々な操作を行うことができます。ご利用の上で便利な機能として番号入力補助機能、リダイヤル機能などがございます。



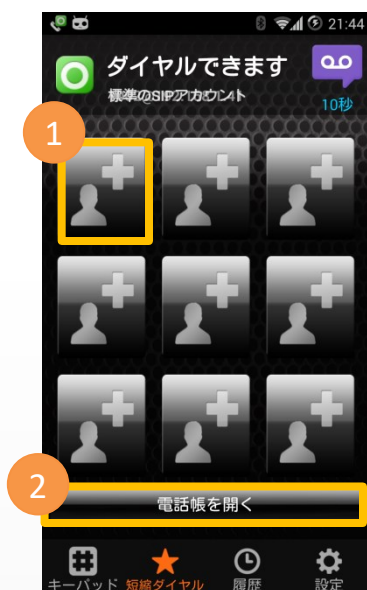
1	アカウント状態表示	アカウント状態表示部分にSIPサーバへの登録が行われているかの確認、現在登録中の内線番号の表示を行います。
2	入力番号表示	入力している番号を表示します。
3	キーパッド	タップすることで、電話番号を入力します。
4	メニュー	さまざまな拡張機能を利用することができます。
5	リダイヤル	直前に発信した番号を入力します。
6	連絡先	端末の電話帳を開きます。

基本画面



短縮ダイヤル画面

頻繁にかける連絡先を短縮ダイヤルに登録することでワンタッチで発信することができます。また端末の電話帳からの発信も可能です。

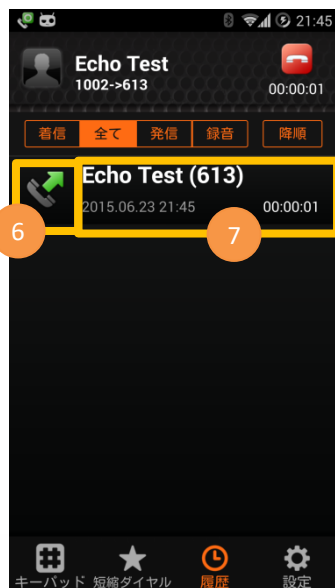


1	短縮ダイヤル 	タップすることで連絡先を開き、短縮ダイヤルに登録できます。連絡先に登録されている名前、画像を表示します。
2	電話帳を開く	電話帳を開きダイヤルすることができます。

基本画面



履歴画面 (1/2)



1	着信	タップすることで着信履歴のみ表示します。
2	全て	着信、発信の履歴をすべて表示します。
3	発信	タップすることで発信履歴のみ表示します。
4	録音有	履歴の表示を録音データがあるものだけにフィルタします。
5	並び順	履歴の表示順を降順・昇順で切り替えます。
6	通話方向アイコン	発信、着信などの履歴の状態を表します。
7	通話情報	名前、時間、通話時間を表示します。名前は連絡先に番号が登録されている場合、登録されている名前を表示します。

基本画面



履歴画面 (2/2)



全ての項目を削除	履歴を全て削除します。
共有	履歴の情報を共有するため他のアプリを呼び出します。 例：Gmailを選択すると本文に履歴情報が記載された状態でメールを作成します。
イベントログ	履歴からイベントログの表示に切り替えます。
終了	AGEphoneを終了します。
キャンセル	メニューを閉じます。

基本画面

設定画面



1	プロフィール管理	プロフィールの追加、切り替えを行うプロフィール管理画面を表示します。
2	再接続ボタン	サーバとの再接続を行います。
3	スピーカー音量調節バー	スピーカー音量の調節を行うことができます。
4	マイク音量調節バー	マイク音量の調節を行うことができます。
5	簡単設定	必要最小限の設定を行うための設定画面を表示します。
6	高度な設定	簡単設定に含まれていない詳細な設定を行うための設定画面を表示します。
7	購入	転送機能等を購入するための購入画面を表示します。

音量調整はつまみが中央の状態では通常端末が出す最大の音量になっており、中央より右につまみを動かしていただくことでソフト側で音量を増幅させる機能をご利用いただくことが可能です。これにより音量が小さくなってしまいう端末をご利用の場合も快適にご利用いただけます。

基本画面



簡易設定画面

SIPアカウントの設定に必要な最小限の設定項目のみ配置されております。複雑なネットワーク設定が必要ない場合、こちらよりドメイン、ユーザID、認証ID、パスワードをご入力いただくことですぐに利用を開始することが可能です。

ドメイン	セッションを実際に張るサーバの内容を入力します。サービス事業者によってはSIPプロキシサーバやSIPドメイン名と呼んだりすることもあり、またこれらをOutbound Proxyを挟んで通話する場合そのOutbound Proxyのアドレスになります。
ユーザID	ユーザIDは050番号を使った発着信を行いたい場合、050ではじまる番号を入力します。（この時ハイフンは省略してください）050番号を使わない場合は任意の文字列を入力出来ます。
認証ID	SIPアドレス内に含まれているユーザIDとは別に、サーバを利用するために認証を行うときのIDになります。希にサービス事業者により、ユーザIDと認証IDが同じ場合もあります。
パスワード	ご利用中のSIPアカウントのパスワードをご入力ください。
起動時に実行	ONにするとデバイスの電源を入ると自動的にAGEphoneが起動します。（任意）

完了

設定に変更があった場合設定を保存し設定画面に戻ります。

戻る

設定を保存せずに簡易設定画面を閉じます。

基本画面



高度な設定

通常、プロファイルごとに適切な初期値を設定いたします。ですがサーバやネットワークなどのご利用環境に合わせて変更が必要な場合に設定値を調整ください。



1	アカウント	簡易設定画面で表示されていない詳細な設定を行うことが可能です。
2	発信信ルール	発信、着信時の動作を変更するルールを作成することができます。
3	ネットワーク	端末のWiFi/3G/LTEなどのネットワーク・インターフェイスに関する設定やSTUNなどの設定を行います。
4	SIP	SIPポートなどSIPに関する設定を行います。
5	メディア	音声にかかわる設定を行います。Android端末ごとに影響するAudioManagerなどの設定からRTPパケットに関するMediaの設定はこちらより行います。
6	一般	電源、履歴に関する設定など端末に関する全般の設定を行います。

基本画面



アカウント設定(1/3)

ユーザーID	ユーザIDは050番号を使った発着信を行いたい場合、050ではじまる番号を入力します。（'/'ハイフンは省略してください）050番号を使わない場合は任意の文字列を入力出来ます。
表示名	省略可能です。通常ユーザIDと同じ番号を入力します。
認証ID	SIPアドレス内に含まれているユーザIDとは別に、サーバを利用するために認証を行うときのIDになります。希にサービス事業者により、ユーザIDと認証IDが同じ場合もあります。
パスワード	ご利用中のSIPアカウントのパスワードをご入力ください。入力すべき情報がわからない場合はSIPサービス事業者へお問い合わせください。
ドメイン	セッションを実際に張るサーバの内容を入力します。サービス事業者によってはSIPプロキシサーバやSIPドメイン名と呼んだりすることもあり、またこれらをOutbound Proxyを挟んで通話する場合そのOutbound Proxyのアドレスになります。
プロキシ	ドメイン同様にセッションを実際に張るサーバの内容を入力します。サービス事業者によってはSIPプロキシサーバやSIPドメイン名と呼んだりすることもあります。これらをOutbound Proxyを挟んで通話する場合、そのOutbound Proxyのアドレスになります。※ 省略可能
レジストラ	Outbound Proxyが存在する場合、SIPドメインと異なるアドレスが存在し、入力が必要となりますのでご注意ください。それ以外は省略可能です。 ※ 省略可能

基本画面



アカウント設定(2/3)



レジスター間隔 (秒)	通常規定値で問題ありませんがご利用中のサーバ、サービス事業者様の指定値がある場合はその値を設定ください。
タイマー間隔 (秒)	通常、規定値で問題ありませんがご利用中のサーバ、サービス事業者様の指定値がある場合はその値を設定ください。
保留形式	通常規定値で問題ありませんがご利用中のサーバ、サービス事業者よりRFC2543 (旧形式) を選択ください。
トランスポート	通常、規定値で問題ありませんがご利用中のサーバ、サービス事業者よりTCP接続を利用している場合はTCPを選択ください。
Contact値の置換	Contact値の置換機能によってNAT越えの問題が改善される場合があります。外部にSIPサーバが設置されている場合「グローバル」に、LAN内に設置されており、TCP/TLSをご利用の場合は「ローカル」を選択してください。Contact値の置換が必要なければ「無効」に設定してください。
プライバシーの種類	ご利用中のサーバがプライバシー機能に対応している場合、有効にすることで非通知発信が可能になります。

基本画面



アカウント設定(3/3)



匿名性を高める	有効にすることでSIPパケットのContactヘッダーの<User Info>にランダムな文字列を用います。
ビデオ着信を拒否する	有効にすることで着信にビデオが含まれた場合はその着信を拒否します。
外線と判断する桁数	設定した桁数以上の番号に発信した場合は外線発信とみなします。
外線発信のプレフィックス	[外線と判断する桁数]により外線と判断された場合、ダイヤル番号の先頭に[外線発信のプレフィックス]で設定した番号を付加して発信します。

基本画面

発信信ルール (1/2)



1	緊急連絡先	標準で緊急連絡先を登録しております。110,119,118へ発信した場合、携帯電話から発信する設定になっております。
2	新規ルール	新しくルールを作成するため 2 の画面へ遷移します。
3	発信信ルールの名称	作成するルールの名称を設定
4	条件の種類	[相手の電話番号]もしくは相手の電話番号の[桁数]を条件にします。それぞれ設定項目が異なるため[桁数]に切り替えた際に点線 [] で囲まれた部分が 2-1 から 2-2 のように変わります。

基本画面



発着信ルール (2/2)

5	条件番号	条件となる番号を入力します。
6	電話番号の比較	5 で設定されている番号と比較する条件を選択できます。 選択肢[で始まる], [を含む], [と同じ]
7	アドレス帳からの呼び出し	5 の番号を入力する際にアドレス帳から連絡先を選択しその番号を入力することができます。
8	演算子	[条件の種類]より桁数が選択されている場合のみ表示。
9	桁数	[条件の種類]より桁数が選択されている場合のみ表示。 発信、着信時の相手先の番号の桁数を指定します。指定可能な桁数は1-15桁です。
10	電話をかける時の動作	発信時、6 または 9 で指定した条件と一致した場合、 下記の動作を行います。 [携帯電話でかける] 確認ダイアログを表示せず、標準電話アプリから発信します。
11	着信音	着信音の指定を行います。ご利用いただける着信音は端末に保存されている中から選択できます。
12	着信時の動作	着信時、6 または 9 で指定した条件と一致した場合 こちらの設定の動作を行います。

基本画面



ネットワーク設定 (1/3)



優先的に接続するネットワーク	複数のネットワーク接続をお持ちの場合、どの接続をプロフィールに使用するか指定が行えます。
STUN有効	LAN内のSIPサーバを利用する場合はOFFにSTUNを使ったNATをご利用の場合ONに設定します。
STUNサーバ1/STUNサーバ2	STUNサーバのアドレスを指定します。ご利用中のサービス業者より指定がない場合は下記の公開STUNサーバを参考に設定ください。 http://wiki.tomocha.net/SIP_STUNserver.html
Keep Aliveを送信する (WiFi)	秒間隔を指定するとWiFi接続が有効であることを確認するために定期的にパケットを送信します。
Keep Aliveを送信する (3G/LTE)	秒間隔を指定すると3G/LTE接続が有効であることを確認するため定期的にパケットを送信します。
Keep Aliveの種類	Keep Alive送信のためのタイマーの種類を指定できます。

基本画面



ネットワーク設定 (2/3)



STUN有効	LAN内のSIPサーバを利用する場合はOFFにSTUNを使ったNATをご利用の場合ONに設定します。
STUNサーバ1/STUNサーバ2	STUNサーバのアドレスを指定します。ご利用中のサービス業者より指定がない場合は下記の公開STUNサーバを参考に設定ください。 http://wiki.tomocha.net/SIP_STUNserver.html
Keep Aliveを送信する (WiFi)	秒間隔を指定するとWiFi接続が有効であることを確認するために定期的にパケットを送信します。
Keep Aliveを送信する (3G/LTE)	秒間隔を指定すると3G/LTE接続が有効であることを確認するため定期的にパケットを送信します。
Keep Aliveの種類	Keep Alive送信のためのタイマーの種類を指定できます。

基本画面



ネットワーク設定 (3/3)



TURN有効

TURN(Traversal Using Relays around NAT)とはNAT越えの解決を支援するためのプロトコルです。音声データはメディアリレーサーバー（TURNサーバー）を中継し送信される為、特定ネットワーク環境に位置する通話相手からの音声データ受信の手助けをします。TURNサーバーを使用される場合はTURNサーバーのアカウント情報を入力します。

ICE有効

Interactive Connectivity Establishment (ICE)とはNAT越え問題の解決を支援するための技術です。STUN及びTURNのようなプロトコルを組み合わせ使用し通話相手より音声データの受信を可能にします。

基本画面

SIP設定



SIPポート	SIPポートを指定します。通常は変更する必要はございませんが、サービス事業者によりポート番号の変更が必要な場合がございます。
シンメトリック応答	シンメトリック応答を有効にするか指定ができます。通常、規定値をご使用いただいて問題ございませんが、IP電話サービス事業者までお問合せください。

基本画面



メディア設定



音声ウィザード	ご利用の機種に最適な音声のテストを行えます。
コーデックの優先順位(WiFi)	WiFi接続時に使用するコーデックの優先順位が指定できます。
コーデックの優先順位(3G/LTE)	3G/LTE接続時に使用するコーデックの優先順位が指定できます。
DTMFの種類	DTMFの送出方法をこちらで指定します。
ジッターバッファサイズ(WiFi)	WiFi接続時のジッターバッファサイズが指定できます。
ジッターバッファサイズ(3G/LTE)	3G/LTE接続時のジッターバッファサイズが指定できます。
ソフトウェアエコーキャンセル	アプリ側でエコーキャンセルを行います。ご使用の機種により既にエコーキャンセルが行われている場合は[無効]に設定ください。
エコーキャンセルの長さ	エコーキャンセルの長さを指定します。
ptime	音声パケットのサイズを指定できます。
無音圧縮	無音圧縮(VAD)のON/OFFの切替を行います。ONにすると無音時にパケットを送らないようにします。
詳細なメディア設定	オーディオに関する詳細な設定が行えます。
留守番電話のアナウンスを録音	留守番電機能をご利用の際に発信元へ再生するアナウンスを録音できます。

基本画面



詳細なメディア設定



AudioManager Mode	初期値では正常に音声
Audio Source	こちらの設定は音声入力のソースを設定します。
Audio Source For OpenSL	音声入力のソースを指定できます。 この値はオーディオエンジンの設定が「OPEN_SL」利用時のみ使用されます。
Audio Stream	こちらの設定は音声出力のストリームを設定します。
周波数	音声入出力の周波数を設定します。
オーディオエンジン	通話に使用するオーディオエンジンの種類を選択できます。通常は「JAVA」を使用し、通話音声に問題がある場合「OPEN_SL」を使用してください。

音声の詳細な設定を行います。こちらの設定を変更することで改善される可能性があり重要な項目となっています。詳細については下記リンクの弊社WEBサイト[よくあるお問い合わせ]を参照ください。

■ 自分の話した声が相手に聞こえません/相手の声が自分側に聞こえない (Android) | ageet Corp

http://www.ageet.com/faq/one_way_android/

基本画面



詳細なメディア設定



スピーカー切り換え時の
音声リセット

スピーカー出力を切り替えた際に音声問題が発生した場合にリセットを行い問題の回避を試みる機能です。

rtpmapを省略しない

SIPパケットにrtpmapを付加します。

sendonlyで保留を行う

保留Inviteにsendonlyを付加します。

基本画面



一般設定 (1/2)



起動時に実行	ONに設定すると端末起動時にAGEphoneアプリを自動的に起動します。
電源管理	こちらの設定ではスリープ状態で着信の受付を維持するかについて設定できます。この設定を有効にするとバッテリーが通常よりも消費量が多くなります。
電話をかける時の動作	電話をかける時にAGEphoneで発信するか、発信毎に選択するか設定できます。
3G/LTE着信時の動作	通話中に標準電話アプリに着信があった場合の動作について設定します。
3G/LTE通話接続時の動作	IP電話で通話中に標準電話アプリの着信に応答した際の動作を設定します。
通話履歴	端末と履歴を共有するか設定が行えます。端末の履歴をAGEphoneアプリでも表示し、履歴を端末の履歴に追加する場合は[端末の履歴を利用する]に設定ください。

基本画面



一般設定 (1/2)



電話帳	アプリから連絡先を開く際に端末の電話帳を使用するかアプリの電話帳を使用するか選択することができます。
保存容量の制限	通話録音のファイル等、AGEphoneアプリが使用する容量を制限します。制限を超えた場合、古いファイルからファイル容量が制限内になるまで順に削除します。
ファイル保存期間の制限	通話録音等のファイル等のAGEphoneアプリで作成したファイルが作成してから設定された期間経過したファイルを自動的に削除します。
着信時の動作	着信して設定された時間、電話に出られない場合に設定した動作を行います。
現在の地域	地域から選択される可能性の高いプロファイルを優先して表示するための機能です。
ヒントの表示	新機能のフキダシを表示/非表示を設定できます。
背景	AGEphoneアプリの背景画像を変更できます。

基本画面



一般設定 (2/2)



現在の地域	地域から選択される可能性の高いプロフィールを優先して表示するための機能です。
ヒントの表示	新機能のフキダシを表示/非表示を設定できます。
トラブルシューティング	サーバ登録に失敗した時の支援機能の有効・無効を切り替えます。
背景	AGEphoneアプリの背景画像を変更できます。
着信音	着信音の選択を行えます。作成された発着信ルールが適用される番号からの着信の場合は発着信ルールが優先されます。
パフォーマンス	端末の性能に合わせてアプリの動作コストを設定できます。低に設定されている場合はUIのアニメーションがなくなり、動作が速くなる場合がございます。
画面表示	アプリの画面を表示する向きを設定することができます。



2. 設定

設定



事前準備

通話を行うにはIP電話サービスが必要です。メールアドレスと同じようにIP電話サービスにもSIPアドレスと呼ばれるものがあり、これをAGEphoneにあらかじめ設定しておきます。また、オープンソースのIP-PBXであるアスタリスクサーバ等と連携することで内線IP電話としてご利用いただくことも可能です。

アカウント情報

ご利用のサービス業者によって、提供されるアカウント情報の設定名が異なるため、参考までに技術例を列挙しております。

AGEphone 設定名	他社記述例
ユーザID	VoIP電話番号 DID 電話番号 内線番号 SIPアカウント
認証ID	VoIPユーザID ユーザ名
パスワード	VoIPユーザパスワード 認証パスワード SIPアカウントパスワード

設定



プロフィールを変更

プロフィール管理画面から作成したプロフィールを簡単に切り替えることができます。



1

設定画面を開き、[プロフィール選択]をタップします。

2

選択可能なプロフィールを表示

設定



スリープ時に着信を受ける

初期状態ではスリープ状態で着信を継続して受け付けません。下記手順にて設定をご確認ください。



1

一般設定の電源管理をタップする

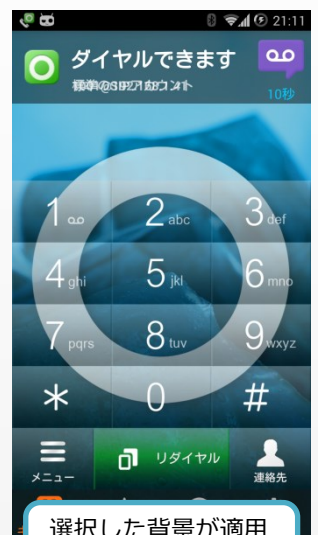
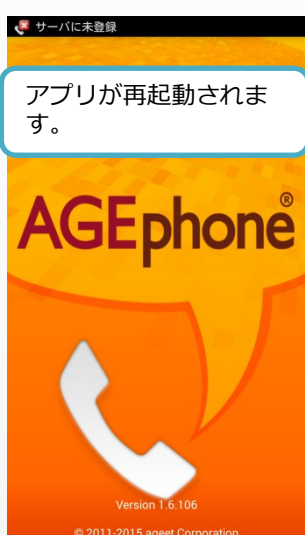
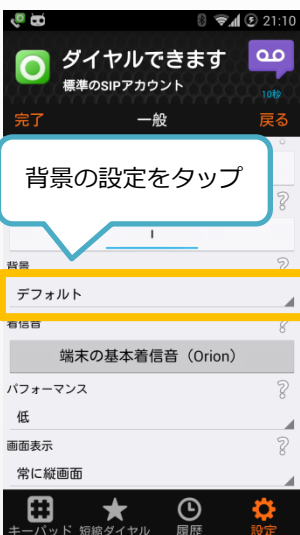
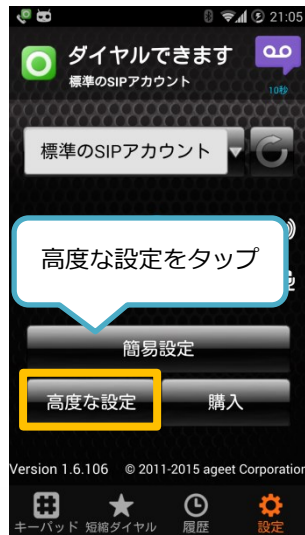
2

Wi-Fiをご利用の場合は[スリープ状態での動作とWiFi接続を維持する]を選択、3G/LTE回線をご利用の場合は[スリープ状態での動作を維持する]を選択ください。

※端末によりアプリの動作を継続できない場合があります。また、本設定を変更することによりバッテリーをより消耗します。

設定

背景を変更する





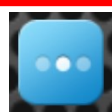
3. 通話機能

通話機能



アプリから発信する

番号を入力し「ダイヤル」をタップすることで発信します。この時SIPサーバへの登録中である必要があります。



呼出中



通話中



1

発信先の番号を入力します。

2



をタップすると呼出を行います。

この時、切断をタップした場合は呼出をキャンセルできます。

3

相手が受話するとアイコンが変わり呼出音が止まります。

通話機能



携帯番号で発信する

番号を入力し「ダイヤル」をタップすることで発信します。この時SIPサーバへの登録中である必要があります。



1

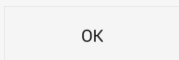
発信先の番号を入力します。

2



をタップすると呼出を行います。この時、切断をタップした場合は呼出をキャンセルできます。

3



をタップすると端末の標準電話アプリを起動し携帯番号から発信します。

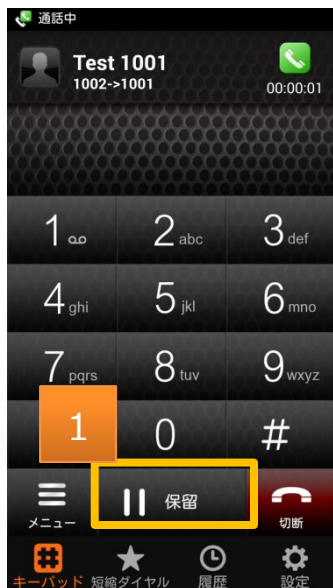
※この通話はお契約中のIP電話サービス料金で通話が行えるわけではなく、Androidの標準電話アプリで発信を行った場合と同様にお契約中の携帯電話会社より請求されます。

通話機能

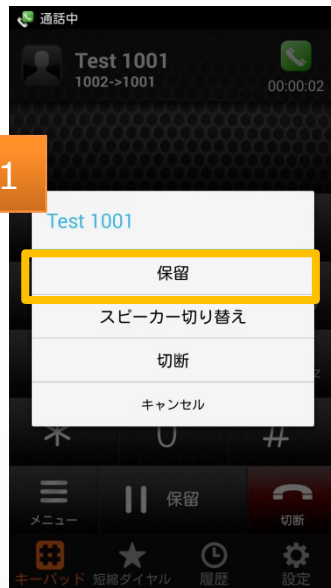


通話を保留する

通話中に下記の操作を行うことで通話を保留にできます。



キーパッド画面(保留ボタン)



キーパッド画面(メニューボタン)

1

通話中にキーパッド画面にていずれかの[保留]をタップしていただくことで通話が保留されます。

※本製品の保留機能はご利用のIP電話サービスがRFC2327またはRFC3264に対応している必要があります。

通話機能



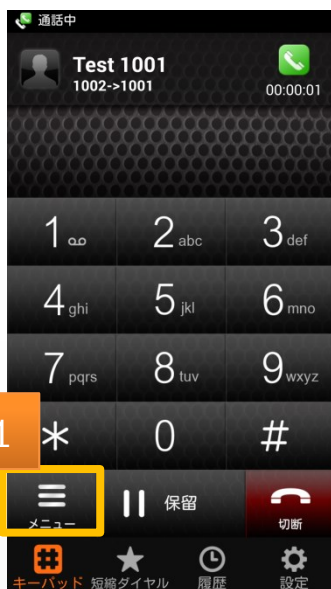
スピーカーフォンに変更



外部スピーカー



内部スピーカー



1

通話中にキーパッド画面のメニューをタップします。

2

表示されたメニューから[スピーカー切り替え]をタップします。

3

スピーカーの出力先を表示するアイコンが表示され、音声は外部スピーカーから出力されます。ただしすでにスピーカーフォンの場合は内部スピーカーに戻します。

通話機能



短縮ダイヤルから発信する

短縮ボタンからワンタッチで登録先に発信できます。



1

連絡先の登録されている短縮ボタンをタップすると登録されている連絡先の先頭の番号に発信します。

2

メニューの表示

連絡先の登録されている短縮ダイヤルを長押しするとメニューが表示されます。
1つの連絡先に複数の番号が登録されている場合はこちらから操作を行います。

通話機能



履歴から発信する



1

履歴画面を開き、発信したい履歴をタップすることで履歴の番号へ発信します。

2

1

で履歴を長押しした場合はメニューを表示、[発信]をタップすることで履歴の番号へ発信します。



4. 短縮ダイヤル機能

短縮ダイヤル機能



短縮ダイヤルの登録

登録しておくことで番号へワンタッチ発信を行うことができます。また、ボタン長押しで登録削除やアドレス帳で開くなどの操作が可能になります。



1



をタップし短縮ボタンに追加する連絡先を選択します。

2



連絡先に登録されている画像、名前を表示します。

短縮ダイヤル機能



短縮ダイヤルの登録を削除



1

メニューの表示

連絡先の登録されている短縮ボタンを長押しします

2

連絡先をリストから削除

連絡先の登録されている短縮ボタンを長押しするとメニューが表示されます。

メニューの中から[連絡先をリストから削除]をタップします。

3

短縮ダイヤルに登録されていた連絡先が削除されます。



5. 転送機能

転送機能



転送機能の体験版を利用する

購入の前に[転送機能の体験版]をタップしご使用の機種で転送機能がご利用可能かご確認ください。



1

[購入]をタップします。

2

[転送機能の体験版]のカードのボタンをタップします。

3

[体験版期間の開始]をタップすることで体験版の利用が可能となります。

カートボタンがチェックマークになれば転送機能の体験版をご利用可能な状態となります

転送機能



転送機能を購入して利用する

転送機能のご利用には予め[転送機能]をご購入いただく必要がございます。



1

[購入]をタップします。

2

[転送機能]のカードのボタンをタップします。

3

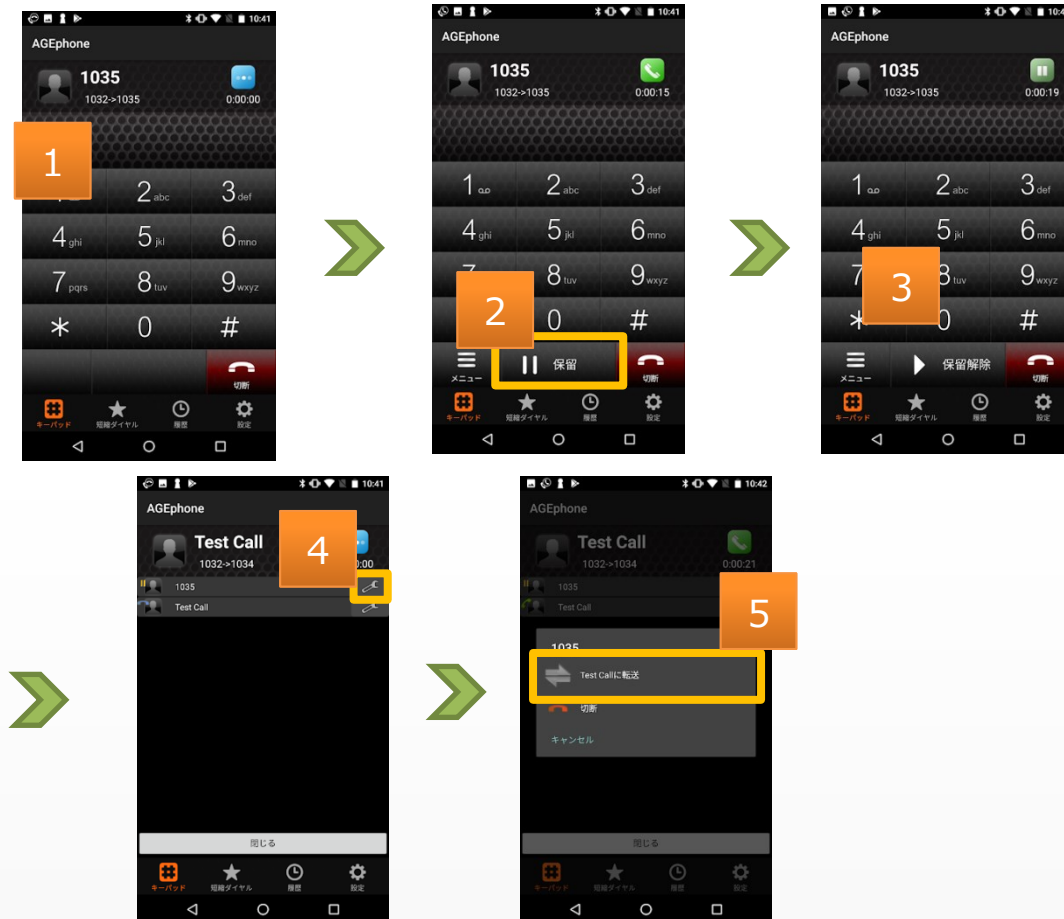
[次へ]をタップすることで購入を完了します。

※購入の前に[転送機能の体験版]をタップしご使用の機種で転送機能がご利用可能かご確認ください。

転送機能

応答後転送

話している通話を保留中の通話に転送します。(※体験版ご利用時でも共通の操作となります)



- 1 第一呼目の通話へ発信または着信する
- 2 保留ボタンをタップし通話を保留する
- 3 第2呼目の通話をダイヤルし発信する
- 4 転送画面で転送する通話ラインのメニューをタップします
- 5 メニューから[～に転送]をタップします。

※ご利用にはREFERメソッドに対応している必要があります。



6. 着信時の動作

着信時の動作



着信して一定時間経過後、留守番電話機能で応答する

一定時間の間電話に出られなかった場合にアプリの留守番電話機能によりメッセージを録音することができます。



1

アプリ画面右上のフキダシのアイコンをタップします。

2

上へスワイプしメニューをスクロールします。

3

[留守番電話]を選択します。

着信時の動作



留守番電話で応答するまでの秒数を変更する

0秒から60秒の間で留守番電話で応答するまでの呼出時間を指定できます。



1

アプリ画面右上のフキダシのアイコンをタップします。

2

呼出時間の設定バーをスライドします。

3

[OK]をタップします。

着信時の動作



発信元の番号によって着信音を変更する

相手の番号により着信音を変えることができます。



1

[新規ルール]をタップします

2

[発信信ルールの名称]を入力します。

3

着信音を変更したい相手の番号を入力します。

4

着信音を選択する際に利用するアプリケーションを選択します。

5

着信音を選択し[OK]をタップします。

6

[保存]をタップし、ルールを保存します。

※ルールを登録した相手へ発信する際にAGEphoneを使用する際は[電話でかける時の動作]を[AGEphoneでかける]に設定ください。

※選択できる着信音は端末により異なります。



7. 終了方法

終了方法



アプリを終了する



1

Android本体のメニューをタップします。

2

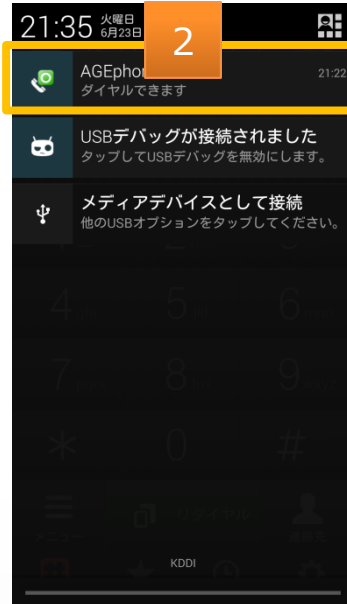
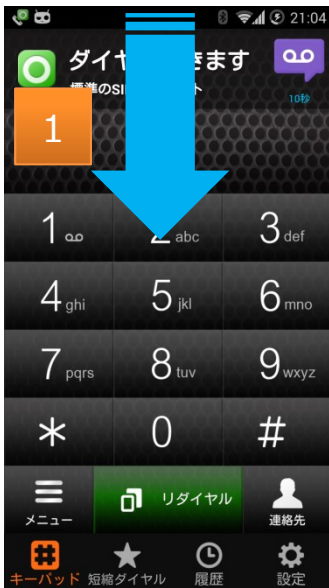
表示されたメニューから[終了]をタップします。これによりサービスは終了し着信を受け付けられない状態になります。

※AGEphoneを完全に終了させてしまうと電源管理設定にてバックグラウンドでAGEphoneが動くように設定されていても着信が受けられなくなってしまうので注意願います。

終了方法



アプリを強制停止する



1

通知画面を表示する
ステータスバーを下へスワイプする

2

[AGEPHONE]を長押しする

3

アプリの情報を開く

4

[AGEPHONEアプリ]を強制停止する

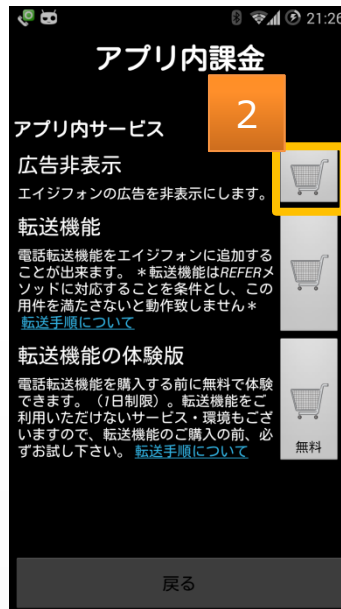


8. その他

その他



広告を非表示にする



1

[購入]をタップ

2

[広告非表示]の CART のボタンをタップします。

3

[次へ]をタップすることで購入を完了します。



9. お問い合わせ

お問い合わせ



アプリに関するお問い合わせ

法人利用について、AGEphone スマートフォン版について、その他、詳しい仕様や技術的なご質問についてもお相談を受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

それ以外のお問い合わせのついてメールにて受け付けております。

メールでのお問い合わせ 株式会社ageet サポート受付



<http://www.ageet.com/support/contact/>

開発元： 株式会社 ageet 〒617-0002 京都府向日市寺戸町修理式13-98